

4月10日(水) 本年度第37回(通算2676回) 12時30分～ 釧路プリンスホテル

『ゲスト卓話』

担当/新世代委員会

☆お客様と来訪ロータリアン

- | |
|---------------------------------------|
| ・長江 勉君 (第7分区ガバナー補佐・釧路南RC) |
| ・安藤整治君、木内治彦君、工藤ゆかり君、佐藤玄史君、清水 哲君、長井一広君 |
| 長倉巨樹彦君、山本美穂君 (釧路南RC) |

☆出席報告【会員総数62名 免除7名 出席計算に用いた会員数62名】

本日の出席者 42名 68%

☆ニコニコ献金

- ・高橋 貢君 ～ 渡辺様本日の例会宜しく申し上げます。南RCの皆様ようこそお越しくございました。
- ・小林 裕幸君 ～ 同 上
- ・富樫 孝之君 ～もう9年入会してからたちました。これからも宜しく申し上げます。
- ・東海林 均君 ～14日誕生日です。ありがとうございます。
- ・坂入 信行君 ～渡辺様本日の例会宜しく申し上げます。南RCの皆様ようこそお越しくございました。
- ・高橋 邦弘君 ～結婚記念日のお花ありがとうございます。
- ・石井 東洋彦君 ～渡辺様しばらくぶりです。本日の例会宜しく申し上げます。
- ・中島谷友一朗君 ～渡辺様本日の例会宜しくお願い致します。
- ・松田 信明君 ～結婚記念日

☆会長挨拶☆ 《高橋会長》



皆さんこんにちは！4月に入りすっかり春めいて来ましたが、先週末の爆弾低気圧は道内を直撃し多大な被害となりました。皆様に被害は無かったでしょうか？この季節になり、風疹や鳥インフルエンザなど細菌やウイルスも猛威をふるっております。自然災害における被害は多大なものであります。皆様におかれましては備え、予防を徹底し自分自身を守ってほしいと思います。それが皆を守ることに繋がると思います。

さて、今月は雑誌月間であります。ロータリーに関する書籍はたくさんありますが、一番身近なロータリーの友についてロータリー情報ともに雑学の話をしていただきます。

『ロータリーの友』の名前は第2回準備会で、投票によって遠藤健三氏提案の『ロータリーの友』に決定しました。この名称に対し、柏原孫左衛門氏がおつまみの「ビールの友」からヒントを得たのではと発言、爆笑となったそうですが、遠藤氏自身、後日談で『主婦の友』からヒントを得たと述べています。

『ロータリーの友』は日本におけるロータリーの機関誌です。

『ロータリーの友』はロータリーについての情報誌です。

『ロータリーの友』はロータリアンの公開討論の場です。

ロータリーの友は、1953年1月に、地区ガバナーの機関誌として広い意味でのロータリー・インフォメーションの普及を目的として発刊されました。

最後になりますが、ロータリーの友に表紙が何故裏表にあるのか？

書きでスタートした「ロータリーの友」は後に俳壇や歌壇コーナーができ、横書きでは見にくいとのことで1972(41年前)から現在の右から開くと縦組み、左から開くと横組みになったそうです。「縦組み」は基本的に投稿によって編集され「横組み」はR I 指定記事や月間特集などが主体の企画記事中心という構成になっています(皆さんは知っていましたか？知らぬは高橋だけだったでしょうか・・・)ちなみに4月号の表紙は「復活の獅子、恩返し舞」 「桜の古木と姫路城」です。

☆幹事報告☆
《平井副幹事》



- ①本日の回覧について、3月例会案内と会報・月報が根室・厚岸・弟子屈の各ロータリークラブより届いております。
- ①本日の回覧についてですが、会報・月報が厚岸・中標津・根室の各ロータリークラブ・釧路北ローターアクトクラブより届いております。
- ②4月例会プログラムにつきましては、白糠・根室・中標津の各ロータリークラブより届いております。
- ③櫻田ガバナー事務所より北海道教育庁学校教育局義務教育課長よりコミュニティースクールの推進について、リスボン国際年次大会参加登録最終案内、東ヶ崎潔記念ダイヤログハウスへ募金のお願い、第2520地区小野寺則雄ガバナーより岩手県山田町の児童生徒による震災から立ち上がろうと思いが寄せられている「やまだの作文」が届いております。国際年次大会参加は予約期限4月20日、参加されます方、東ヶ崎潔記念ダイヤログハウス募金されます方は幹事までお願いいたします。



《長江ガバナー補佐と実行委員長》



《釧路南ロータリークラブ様》

ゲスト卓話



公益社団法人 発明協会釧路少年少女発明クラブ会長

渡邊政之 氏

釧路少年少女発明クラブの活動の概要

- ★今年度が設立6年目で月2回の定期授業のほか、随時、発明協会の全国、全道規模のコンテスト他に応募しています。開設半年後にクラブ員が全国大会で受賞を果たし東京科学技術館の授賞式に招かれました。同時に当発明クラブが目覚ましい活動をしているということで、団体賞も受賞しました。また釧路市内の全小中学校生を対象とする「全国チャレンジ創造コンテスト」も今年3回目の開催を迎え、参加者から北海道代表として、東京工業大学で開催された全国大会に招かれました。この11月には名誉会長の常陸宮殿下ご夫妻が札幌全国大会をご覧になるということで、特に活動の活発な釧路少年少女発明クラブから、特に2チーム(12人)のクラブ員の参加を要請され、(新聞発の盲人用の白杖)と(高齢者を対象とする健康器具)を作品として持参し、常陸宮殿下ご夫妻にご説明をしてきました。
- ★平成20年に始まったこのクラブは継続者が多く、平成23年度にはクラブ員が小学校2年生から、中学校3年生までに学年差が開き、一斉の授業が困難になりました。そのため本年度からジュニア、シニアの2クラス制として実験と工作の授業を進めております。このため倍の教員数が必要となりましたが幸いに教育大学の教授陣と施設利用の協力を受け、教室の確保はもちろん子供たちの安全も守られ、駐車場の心配もなく、子どもたちは元気に楽しそうに授業を受けております。教室としては教育大学小学生用の理科室、演習室などのほか、高専や中学校の技術教室で行われることもあります。毎年、年度当初と最終回は、釧路市立博物館の講堂をお借りして、市の関係者の方々にもご列席いただき、簡単な式のあと小実験や実験ショーなどをおこなっております。
- ★当会は無償非営利の全国的組織のひとつにすぎませんが、講師の先生がたは、しっかりとした科学教育の方針をお持ちで、どなたも無報酬で授業をおこなってくださり、その熱心さに頭の下がる思いで大変感謝しております。
- ★この5年間釧路少年少女発明クラブは、産官学の支援のもとにあります。教材費や特に受賞のさいの旅費等で経済的に危うい運営ではありますが、保護者の方がた、後援会のご支援とクラブ得意の「素材の工夫」で授業は進展を続けております。以上のような現状ですが、志の高い科学技術教育に関心をお持ちの保護者のかたがたや、お知り合いにお子さんかがおられましたら、釧路少年少女発明クラブの活動への加入を勧めただけると幸いです。もちろん見学も大歓迎ですし、本人と保護者の同意があればどなたでも入会できますので、御気軽にご連絡くださるようお願いいたします。子どもたちの光輝く未来の為に…